

せん孔細菌病 春型枝病斑を切除してください！！

せん孔細菌病多発地帯を中心に、下の写真のような春型枝病斑が確認されております。この枝病斑を放置すれば、せん孔細菌病の感染拡大を招きます。園地の状況を確認し、見つけ次第切除してください。

- 枝の中間部だけでなく、先端部～中間部にかけて芽や枝が枯れている症状が多く見られます。疑わしい症状の枝も切除してください。
- 農薬の定期散布は、もも・ネクタリン特報No.3を参考に、散布間隔10日以内と降雨前の防除を徹底してください。

現在、園地で多く見られる枝病斑①～③

① 枝の先端が枯れる症状



② 枝の先端が枯れる症状



③ 枝の中間部の芽が枯れる症状



典型的な枝病斑

(芽の基部が黒褐色、ひび割れ、陥没している)

